

アンケート名：ユニバーサルデザインの考え方に基づく国土交通行政の推進に向けた具体的な方策について

問1 「ユニバーサルデザイン」の考え方とは、障害の有無、年齢、性別、言語などに関わらない多様な人々が、はじめから、できるだけすべての人が利用しやすい、すべての人に配慮した建物、製品、サービス、環境などのデザインをしていこうとする考え方です。この「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていましたか？次の中から1つ選んでください。

1. 意味まで知っていた。
2. 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった。
3. 今回初めて聞いた。

問2 あなたは、「生活や移動に不便を感じている人」という言葉から、どのような人を思い浮かべますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1. 身体などに障害のある人
2. 高齢者
3. 妊婦
4. 病気・ケガをしている人
5. 幼児
6. ベビーカーを押した人
7. 大きな荷物を持った人
8. 太った人・やせた人、背の高い人・低い人
9. 左利きの人
10. 眼鏡をかけている人
11. 旅行や転居などで初めて来た人
12. 外国人
13. 特に思い浮かばない
14. その他

問3 ユニバーサルデザインは、すでに様々な分野で取り入れられています。次にあげるユニバーサルデザイン関連の商品などのうち、あなたが気づいていたものすべて選択してください。

1. リンスと区別するためのシャンプー容器の側面の凸印
2. 買物や散策に便利な電動カートを貸し出すタウンモビリティ
3. 赤ちゃんのおむつ替えや車いす利用者も使える多目的トイレ
4. 外国人や子供にもわかりやすい駅の番号表示
5. 幅が広く車道との段差がなくて、誰もが歩きやすい歩道
6. 乗降しやすく、車いす利用者も乗ることができるノンステップバス
7. 点字や音声誘導を備えた案内板
8. 誰でも出入りしやすい、建物の出入口の自動ドア
9. 両側のドアが開き、車いすの向きを変える必要がないエレベーター
10. 車いすと人が並べる幅の動く歩道

- 問4 ■現状のバリアフリー化について■ 国土交通省では、高齢者や身体障害者などを対象として移動がしやすく、暮らしやすい社会の実現のために、公共交通機関、歩行空間、公共性の高い建築物、住宅などにおいてエレベーター等により段差を解消するなどのバリアフリー化を推進していますが、このバリアフリー化の現状についてどのようにお考えでしょうか。
- 問5 ■ユニバーサルデザインの考え方でハード・ソフトの両面で施策を推進することについて■ 従来のバリアフリー施策に加え、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、住宅・建築物、社会資本、公共交通、観光などの国土交通行政全般にわたって施策を構築していくことを考えていますが、どのような方、分野について特に配慮すべきとお考えでしょうか。また、どのような配慮が必要だとお考えでしょうか。
- 問6 (問5の続き) ハード面の施設整備のみでなく、電車などで席を譲ることや車いす使用者のお手伝いなどを自然にできる環境を構築するソフト面の「心のバリアフリー」を推進することについてどのようにお考えでしょうか。
- 問7 住宅・建築物、社会資本、公共交通、観光などの国土交通行政分野について、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、すべての人々にとって使いやすいものとするためには、今後どのような方策を進めるべきだとお考えでしょうか。
- 問8 皆様の身の回りで、ユニバーサルデザインの考え方から見て、優良な事例がありましたら、事例の内容と、優良と考える理由をお知らせください。